

新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部
(新型インフルエンザ等対策本部)
知事メッセージ

令和2年8月7日
青森県危機対策本部

新型コロナウイルス感染症に係る対応について

いよいよ来週からお盆休みを迎えます。

県外にお住いの本県出身者の皆様方には、この4月、緊急事態宣言の対象地域が全国に拡大されたことを受けて、大変心苦しいことではありましたが、ゴールデンウィーク期間中の帰省を我慢いただいたところ です。

感染症への対応が長期化する中、首都圏等で暮らす皆様方におかれては、再びの感染拡大により、人との接触到ストレスを感じるなど人間関係も希薄になりつつあるものと思います。

このような方々が「ふるさと青森」で御家族・御親戚・御友人の温かさに触れ、大切な「ふるさとの絆」を確かなものとして感じる、そうした機会が奪われてしまうことは、大変残念なことだと思います。

新型コロナウイルス感染症については、首都圏や大都市圏を中心に感染者が増加するなど厳しい状況が続いているところですが、遠く離れ、ふるさとに思いを馳せる方々のお気持ちを拝察するに、私としては、このお盆休み期間中の帰省について、一律の自粛はお願い

いたしません。

ただし、帰省を予定されている方々におかれましては、大切な御家族等の健康を守るためにも、御自身の体調を確認するとともに、感染拡大地域での行動歴などを十分に考慮し、御家族等と相談の上、慎重に判断していただきたいと思います。

そして帰省中においては、「三密」の回避やマスク着用などの基本的な感染防止対策の徹底をはじめ、発熱など体調がすぐれない場合には外出を自粛していただくほか、大人数での会食・飲み会や、重症化リスクの高い高齢の御家族等とお会いする際には特に気を付けるなど、感染リスクに細心の注意を払い、慎重な行動をとっていただくようお願いいたします。

また、県民の皆様方には、帰省される方々を温かい心で受け入れていただくことをお願いしたいと思います。

この休み期間中、帰省や旅行等で県外へお出かけになる方もいらっしゃるかと思いますが、首都圏や大都市圏など感染症患者が多数発生している地域への移動を予定されている方におかれては、移動先の状況を踏まえ慎重に判断していただきたいと思います。

また、移動される場合にあっては、御自身の感染予防対策を徹底していただくとともに、立寄り先の感染防止策が徹底されているかといったことにも留意の上、慎重な行動をとっていただくようお願いいたします。

この夏休み・お盆休みが、本県における感染拡大の端緒とならないよう、お一人お一人が「思いやりの心」を持ちつつ、「自分で自分の身を守る」ことを意識して行動してくださるようお願いいたします。

そして、皆様方がそれぞれのふるさとで心を取り戻す、そういった機会になることを期待しております。

次に、新型コロナウイルス感染症の予防対策に関連して、適切な病院受診と熱中症対策についてであります。感染を過剰に警戒するあまり、元々有している疾患の受診を控えたり、健康診断の受診を控えたりすることにより、持病の悪化や健康状態の悪化に繋がるようなことは、是非とも避けていただきたいと思えます。

御心配な点があれば、まずはかかりつけ医に相談してください。

また、この時期は暑い日が続く、特にマスクを着用していると体温調節が阻害され熱中症のリスクが高まります。

屋外で人との距離が十分確保されている場合はマスクを外したり、マスク着用時には激しい運動を避け、こまめに水分補給するなど、熱中症にならないよう気を付けてください。

新型コロナウイルス感染症とは長い付き合いになることが予想されます。

どうか、県民の皆様におかれては、「感染症予防の一丁目一番地は、健康な体づくりと自身の免疫力を高めることである」ということを今一度思い出していただき、感染予防対策に万全を期しつつも、日常の運動習慣や健康管理にこれまで以上に取り組んでいただきますようお願いいたします。

県としては、多くの都道府県で感染者が増加している状況にあることから、政府における対策強化の動向を注視するとともに、気を緩めることなく、感染拡大防止対策並びに検査体制の強化と医療提供体制の整備に万全を期して参ります。

県民の皆様方におかれましては、引き続きソーシャル ディスタ
ンシングなど基本的な感染予防対策の徹底等について、御理解と御
協力をお願い申し上げます。